人権教育通信　長子配布

Hand - in - Hand

江南市立布袋北小学校　No.7　10月21日

☆6年生学年授業:『自信貯金』☆

１０月１３日（木）、千葉市教育委員会学校教育部学事課管理指導主事の渡邉尚久先生をお招きしました。渡邉先生は元千葉県の公立小学校教諭です。スティーブン・Ｒ・コルヴィー氏の世界的ベストセラー『７つの習慣』に学び、成功哲学を小学校現場に導入し、その効果を実証した第一人者です。本校に５月２７日に来ていただいた新潟の赤坂真二先生、奈良の土作彰先生と組んで現在学級づくり改革セミナーを全国展開しています。

今回は、６年生に学年授業をしていただきました。ユーモアたっぷり、軽快な語り口とテンポでぐんぐん子どもたちを惹きつけて授業が進みました。本校の人権教育で子どもたちに育てたい力「自分を大切にする、他人も大切にする」というねらいを達成できる授業でした。人とつながって人生を幸せに生きていくために必要な『信頼』。人に受け入れられる言動をとることを重ね、信頼貯金がたまるように、人から不信に思われる行為や物言いは、引き出されてしまい「信頼」が減ってしまうという話を聴く子どもたちの表情は真剣そのものでした。これからの生活に生きるように進めていきたいと思います。

今日学んだ「幸せに生きる」ということを思い出すと感動してきます。僕は気が弱いなーと自分で感じてきました。今までにぼくは何度も変わろうと思っていました。でも全然変われなくて、どうしてだろうと思っていたけど、今日の授業でなるほどなーと思いました。

これからはマイナス言葉は受け取らないようにして、みんなに自信などをもたせる言葉をたくさん使ってみたいです。あと、ぼくは渡邉先生が最後に言った良い「T・E・A・M」とは、一人一人が良いということで、すべては自分からということを心に思って行動しようと思いました。

過去に悩まず、今、今からの自分の人生を明るくすれば、必ずいいことが訪れるということが分かりました。周りの人からマイナス言葉を言われても受け入れないことが大切だということも分かりました。

私は、「自分が変わればすべてが変わるという」というのが一番印象に残りました今までは授業で、あまり手を挙げられなかったけど、今日、渡邉先生の授業を受けて自分が変わって手が挙げられると思います。なので、手が挙げられたら、一歩進んで周りの人を励ます側になりたいです。「自信」というものが少し分かった気がします